

## 第1回福山市営競馬場跡地利活用検討懇話会 議事概要

### 1 日 時

2013年（平成25年）8月26日（月）18:30～20:30

### 2 場 所

福山市役所本庁舎6階 60会議室

### 3 出席者

石川委員，岡島委員，奥山委員，垣木委員，北村委員，喜多村委員，平委員，武井委員，津田委員，土屋委員，壺井委員，福万委員，富士委員，藤井委員，宮上委員，村上委員，森近委員，山本委員，和田口委員

### 4 議事要旨

- 各委員に委嘱状が交付された。
- 「福山市営競馬場跡地利活用検討懇話会の役割」，「福山市営競馬場跡地の概要及び市の基本的な考え方」並びに「今後のスケジュール」について，事務局から説明が行われた後，委員より意見が出された。
- 各委員より競馬場跡地に期待する事などについて，意見が出された。
- 9月下旬もしくは10月上旬に，現地視察を実施することとした。

#### （意見の概要）

##### 福山市営競馬場跡地の概要及び市の基本的な考え方について

- 競馬場跡地の活用は，市が所有した状態でということか。入る施設は公共施設のみか，それとも外部も含めた運用とするのか。
  - ⇒ 基本的には公共的利活用としているが，今後，市民，懇話会の皆様の意見を広く伺いながら結論を出していきたい。
- 収益性があえば，土地の一括活用，分割のいずれも可能か。
  - ⇒ 基本的には公共的利用としているが，広大な土地であるので，一部について民間活用や，分割の可能性を否定するものではない。
- 競馬場跡地の活用は将来にわたって市に与える影響が大きいと思うが，福山市全体でどのように位置付けているのか。都市計画などの位置付けを前提とするのか，それとも全く白紙の段階から考えるのか。
  - ⇒ 特に限定した用途は考えていない。白紙の状態と考えていただきたい。

##### 今後のスケジュールについて

- 地域には競馬場のために生活をしてこられた方が多数おられる。3年計画とされているが，これよりも早く一つの方向性を出してもらいたい。
  - ⇒ 市民，懇話会，議会等色々な方の意見を伺いながら，慎重に検討を進めていきたい。

ただし、いつまでも遊ばせておく訳にはいかないのです、最大限早期に事業着手できるような努力したい。

#### 市民アンケート調査の実施について

- アンケートは無作為とされているが、競馬場周辺の方々が入るような方法にできないか。  
⇒ 全市から無作為で抽出した人を対象と考えている。委員に、地元の町内会連合会長がいるので、地元からの声は会長に届けて頂きたい。
- アンケートは 3,000 人を対象としているが、どこからこの数字が出たのか。できるだけ多くの市民の意見を取り入れてもらいたい。  
⇒ 3,000 人としたのは、統計学的に一定数以上は同じ傾向となるためである。
- 調査対象が 20 才以上となっているが、中高生の意見を吸い上げることはできないか。  
⇒ 大学生等によるワークショップを開催し、若者の意見を取り入れたいと考えている。

#### 意見交換

- 防災施設「(仮称)人と防災みらいセンター」を造り、市民の防災意識を高めていただきたい。
- 若いファミリー層や中高生にどのような施設を造れば良いか考えてもらいたい。
- 造って終わりではなく、どう運営していくかが重要である。
- 芦田川や放水路など自然を含めた観点から考えることが、その土地の魅力につながるのではないか。
- 福山駅付近から 2.5km、歩いて 30~40 分であり、市の将来の発展の拠点となるべき。
- 駅の北側には公共施設（文化ゾーン）が充実しているが、まだできていない公共施設を南側に入れてはどうか。(子どもの科学的な学習、ものづくりの拠点、新しい産業を起こすための拠点など)
- 競馬場跡地だけではなく、福山駅と競馬場跡地を結ぶ通りも含めて将来的に考えられたら良い。
- 跡地の北側にある体育館を含めて、駐車場も整備し、緊急避難場所となる総合運動公園としていただきたい。
- 世界に誇れるものが少ないので、例えば、i P S 細胞応用医療、がん治療など先端医療施設を誘致する。
- 地区の人たちが福山市を内外に誇れる場所として欲しい。
- 市制 100 周年事業との関連性を考えて欲しい。
- 高齢者が、社会貢献や勉強できる施設、集える施設が必要である。
- 若い人が集える場所が必要である。
- 広域的な視野で考えた時に、福山以外から人が集える施設、憩える場所とすることで、活性化するのではないか。
- 人が集えて、会議、スポーツができる施設があっても良い。
- 県内外から多くの人を受け入れることが可能な近隣市町にはないような、福山が誇れる施設を期待する。

- 魅力的な商業施設を検討する余地もある。
- 社会体育施設も必要である。
- これからの100年を見据えて、歴史の第一歩となるようなものにしたい。
- 市民がそこにいつも行ってみたいと思ひ、毎日のように利用する施設が良い。
- 賑わいを生むためには、文化的な施設や商業施設が共存するようなものも良い。
- 市民が行きたくなる施設を作り、福山のシンボルとして100年、200年とつなげていければ良い。
- これからの若い人たちの誇りを醸成していければ良い。
- 福山市体育館は、施設が老朽化している。建替えの考えがあるなら、コンセプトとしてスポーツ施設の環境整備を考えていただきたい。
- 100周年記念に向けて、跡地をどのようにもっていくかの視点が必要。
- 跡地とばら公園と駅前を結んでばらを植え、ばらロードとする。
- 跡地にも広大なばらを植え、100周年のイベントの拠点とする。
- 海外からも来ていただけるようにする。
- 大都市と競い合うのではなく、少子高齢化が進む中で、モデルとなる都市を目指してはどうですか。例えば、子育て世代とシニアに優しい公園を作る。(ベビーカーを押して散歩ができる、ジョギングができる、読書ができるなど)
- 公園を中心として市民が憩えるようなものにしてもらいたい。
- 将来的には、芦田川左岸にサイクリングロードを作るなど、長期的な視野を持っていただきたい。
- 都市ブランドをどう高めていくかという視点を重視したい。
- 中途半端はいけない。お金との兼ね合いになるが、統合整理の視点を持ちながら、議論していただきたい。
- 福山市の全体の発展のなかでどう位置付けるかという視点が大事である。
- 商業地という考え方もあるが、駅前の空洞化に拍車をかけるかもしれないので、うまく補完して発展できるように考えていく視点が重要である。
- 地域住民の憩いの場も大事なことである。芦田川に面していることを活かし、水辺と一体となった心地よい空間とし、若い人たちも集えるようにする考えもある。
- 福山は、良い企業が集積している一方で、それらが力を発揮しきれていないのではないか。流通センターやコンベンションセンターを整備し、地域に人を呼び込んで活性化できないか。
- 100年の計で考え、長い目で採算が合うか考えるべき。採算はお金だけではないので、将来についてあまり制約を作るべきではない。
- 100周年には間に合わない。ハコモノを作るにしても2~3年は必ずかかる。
- いかに福山のイメージを高め、名前を発信するかという視点で考えてもらいたい。
- 体育館なら、少なくとも西日本一で、国際レベルにあったものにしていただきたい。
- 分散している施設を集約すると、駐車場も共通化でき、余分なものがなくなり一石二鳥である。
- ものづくりに役立つ研究施設や試験場を造っていただきたい。

- コンベンションセンターは、季節による偏りがあり、地方都市では難しい。
- 子どもたちが将来大人になって家庭を持ち、将来福山に住もうという気持ちにさせるもの。子どもたちに関われるものとしてはスポーツがある。
- 市の体育館，ローズアリーナ，竹ヶ端など散らばった運動施設を整備していただきたい。
- 防災関係の施設は必要である。
- 市民が気軽に利用でき，多目的なイベントができ，市中心部の市民の避難場所となるような大型体育館，立体駐車場が必要である。
- 福山は魅力のある商業施設が少ない。福山にも魅力ある施設を希望する。
- 一から作るのか，今ある機能にアドオンするのか，分散化するのかという考えがある。
- 平坦な土地で，芦田川という自然の資源のあるロケーションを忘れてはならない。
- 若者が帰ってこられるような街づくりがこの地域を維持していくために必須である。
- 先進医療は長期的に考えると普通の医療となる。予算規模が大きく，かなりの覚悟と計画が必要である。
- 新たな医療施設を造るという考え方もあるが，今ある機能を拡張，補完する考え方もある。
- リハビリテーションが変わってきて，裾野が広がり，ものづくりにも関連している。西日本のセンター的なものになれば，若者たちも集まってくる。
- 近々の課題としては，この地域では看護師とコメディカルの人材が不足している。
- 高齢化すれば看護師の養成が重要となる。若者の教育という観点から考えていただいても良い。
- 平地や市内に緑地があまりない。緑地と芦田川の水を活かすことも重要である。
- 高齢化社会を見据え，低床式トラム等が市の中心部に動いている，公共交通網との一体的な開発も必要ではないか。
- 駅前やポートプラザの空洞化が起こらないように，南の発展を考えていければ良い。
- 市民が希望する施設を造って欲しい。
- 福山を世界に発信できるもの。世界に1つしかないものを造って欲しい。
- 福山城のように愛される場所を作るべきである。
- 次の100年200年，子や孫がどのように使っていけるのか，観光資源として売り込んでいけるのかという視点を持って作っていくべきである。
- 理想は子どもから高齢者，すべての人たちが常に満足できる施設づくりであるが，難しいのではないか。
- 時のブームに乗るような施設を造ると，歴史上も反省があり寂れていく。
- 多くの人に使ってもらうために，欲張って色んな物を敷地の中に造るのも避けた方が良い。
- 体育館，文化会館などたくさんあるが，同じようなものを造るのか，将来も含めて利用勝手が良いように集約するのか。そういうことも政策判断として考えていかなければならない。
- 「造ったから来てください」ではなくて，「場所を提供するから使ってください」という発想が必要である。
- 福山は車社会であるので，駐車場確保も前提に考えていただきたい。
- 市の体育館も老朽化しているので，どうするか考えなければいけない。

○市民に貢献できる公共施設の建設（体育施設など）、まちの賑わいや市民生活に潤いが生まれる民間施設（商業施設など）の両方で考えてはどうか。

以上